

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	全体的な計画は基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てるようにしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・年度初めにしおりやハンドブックの読み合わせを行い、保育理念や基本方針の確認と理解を深めている。 ・毎月のクラス会議で保育の振り返りを行い、次月への保育計画に反映している。 ・独自に運動プログラムや乳児教育プログラムが作成されており、遊びの中で楽しみながら子どもの成長を促している。 【課題・対策】 ・乳児クラスは日々の成長が著しい為、決められたテンプレートだけでなく、それぞれのクラスに応じた保育計画の作成が必要。 ・定期的なクラス交流等を通じて互いの保育の振り返りを行う機会を計画的に設定する。			
子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担任が把握する。重要事項は全職員で共有する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共有・交換のために保護者用アプリ『コードモン』の連絡ノート機能でコミュニケーションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか	A	クラス担任が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・慣らし保育は個別に対応することを原則とし、保護者との密な情報共有をもって進めている。 ・発達状況に応じた保育計画立案の為、臨床心理士による巡回対応を行っている。 ・園全体で子どもを見守り、気づきは昼礼や回覧、月の会議等で常に情報共有して、送迎時には保護者へ伝達するよう心掛けている。 【課題・対策】 ・子どもの発達状況は担任のみならず、勤務形態により情報共有が難しいフリーの職員にも、隙間時間を活用して十分に周知することを心掛け、対応や援助の統一を図る。			
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がなされているか	A	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清潔を保つようにしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育などを取り入れている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・限られた施設環境の中、他クラスとの交流保育や保育室の交換等を行い、活動内容や経験に変化をつけて楽しめる工夫をしている。 ・毎日の清掃や消毒に漏れないよう、隙間時間を有効に活用して清潔な保育環境を整えている。 【課題・対策】 ・小まめに保育環境の安全点検(空調チェック含む)を行うしくみを作成する。 ・夕方の保育で使用した玩具の消毒作業を行うために担当職員の時間確保を検討する。			
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・入園や進級時には引継ぎ資料等を活用し個々の発達状況等の重要な申し送りを全職員で確認・共有している。 ・毎日の昼礼で、その日の気づきはすぐに全体発信し周知している。 【課題・対策】 ・乳児クラスは月齢差があり、同じ活動内であっても個別対応が必要な場面も多くある為、可能な限りフリー保育士が補助対応出来るような体制を整える。			
一人一人の子どもに個別に対応する努力	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか	A	0～2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか	A	成長発達記録・園児健康診断記録表・健康カルテ等、必要書類をコードモン内に記録をし、全職員で情報共有をしている。

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧にしている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもがわかるよう対応をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・法人として雇用契約している臨床心理士が巡回相談に対応し、フィードバックを全職員で共有している。 ・外部専門機関とも繋がり、巡回や見守りの記録を残している。 ・アレルギー児は、固定席で専用のトレイと台布巾を使用し、個別対応している。 【課題・対策】 ・配慮を要する子どもへの対応方法を全職員で統一する。 ・アレルギー対策を行うことでの、子どもの隔離感の緩和対策の検討。 ・積極的に研修を受け(研修報告を受け)、職員の学びを深める。			
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えることができる。 【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・保護者からの要望は、苦情受付担当へ迅速に報告し、規程に沿って施設長や運営本部が対応する体制を整えている。 ・年2回運営委員会を開き、要望を伺う機会を設けている。内容や対応についての報告は、コモン配信により全保護者と職員へ周知している。 ・園内に意見箱を設置している。 【課題・対策】 ・担当が対応することが難しい時間帯の場合は、勤務交代や連絡ノート等で丁寧に対応することを心掛けている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・異年齢児保育を積極的に取り入れ、子どもたちが思いやりの気持ちを育めるようにかかわり、見守る保育を心掛けている。 ・独自に能力開発プログラムを作成し、「コトバの森」等の様々なコンテンツを保育に取り入れて遊びの幅を広げている。 【課題・対策】 ・遊びの中で子どもたちの意欲関心を高める為に、遊び込めるコーナーや個別遊びの共有、楽しさや発見に共感できる大人がいる環境作りを目指す。 ・活動内容を展開させる為、園内に限らず地域の施設を利用したり、他園との活発な交流を行う。			
保育内容(あそび)	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができていますか	A	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー保育ができるよう工夫をしている。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを持って保育をしている。 【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・異年齢児保育を積極的に取り入れ、子どもたちが思いやりの気持ちを育めるようにかかわり、見守る保育を心掛けている。 ・独自に能力開発プログラムを作成し、「コトバの森」等の様々なコンテンツを保育に取り入れて遊びの幅を広げている。 【課題・対策】 ・遊びの中で子どもたちの意欲関心を高める為に、遊び込めるコーナーや個別遊びの共有、楽しさや発見に共感できる大人がいる環境作りを目指す。 ・活動内容を展開させる為、園内に限らず地域の施設を利用したり、他園との活発な交流を行う。
保育内容(生活)	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事量に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材について話したりと楽しい雰囲気の中で食事ができるように声かけをしている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況に対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしていける場所になるよう環境面の工夫をしている。 【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・各年齢ごとの「年間食育計画」を策定し、保育士と栄養士が連携して食育を推進、食育カードを使用したクイズ等、楽しい給食の場を設けている。 ・苦手な食材は、無理強いせず一口から促し、褒めて達成感を与えながら克服していけるように配慮している。 ・午睡時間は、オルゴール音源を使用し、ゆったりと心地よい眠りの環境を整えている。 【課題・対策】 ・個々の家庭の生活リズムを子供中心で整えていけるように保護者と連携を取る。 ・午睡リズムの個人差への対応方法を工夫する。

項目	番号	内容	評価	実施していること
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	園児健康診断記録表や健康カルテに、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・子どもにかかわる情報は、アプリ(コドモン)への入力と併せて毎日の屋礼時に記録と確認を取っている。 ・保健日誌の記入とサーベイランスへの入力を行っている。 ・園内での感染症情報は専用掲示板を設置し、コドモンでの配信と併せて速やかに保護者へ情報提供と注意喚起を行っている。			
	【課題・対策】 ・園が集団生活の場であることや、何よりもまず子どもの体調が重視されるべきであることへの共通理解が不十分と思われる場面が多く見られる為、状況伝達の発信方法に工夫が必要。			
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	A	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・衛生担当を配置し、月1回の会議で衛生管理についての課題点・振り返りを話し合っている。会議録は全体に周知している。 ・園舎内をエリア別で複数回消毒を行っている。 ・全職員が毎日の検温・消毒を含め、体調管理の徹底に努めている。			
	【課題・対策】 ・玩具消毒は園庭での日光消毒も活用しているが防塵対策と併せて、雨天時や夕方に使用した玩具等の消毒方法、対応時間の検出に工夫が必要。			
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるように話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。コドモンによる緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不審者対応訓練を年1回おこなっている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・園内や公園のヒヤリハットマップを作成し、定期的に更新・周知している。 ・避難訓練には必ず救急対応訓練を盛り込み、応急手当や救急連絡体制の確認を行っている。・戸外活動時には各クラス専用携帯を所持し、人数確認チェックカードを用いて確認後、帰園連絡を入れている。 【課題・対策】 ・園舎入り口だけでなく、園庭入り口扉にもロック機能を検討。 ・合同での戸外活動時には、適切にチェックカードが活用されているかどうかの確認を定期的に行う。			
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報は鍵のかかる書庫で管理をしている。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	A	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合って決めている。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・子どもの名前を呼び捨てや愛称・省略はせずに正しい名前で呼ぶことを全職員に周知している。 ・着替えの際は全裸になることは避け、上下ごとに脱衣するよう配慮している。 ・年1回必ず人権についての研修を受けている。 【課題・対策】 ・閉鎖的な環境を作らず、常に複数の目があるように人員配置する。 ・意識の差が見られることがある為、保育環境下での気づきは情報共有として、遠慮なく発信できる風通しの良い環境を目指す。				
保護者との交流・連携	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1~2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・職員は、元気に笑顔で挨拶している。子どものことだけではなく、時には保護者の様子も観察して声を掛けて、話しやすい環境を作っている。 ・些細なことも引継ぎ表を活用して送迎時に伝達し、家庭での保育の連携に繋げている。 ・様々な子育て情報をコドモンで配信し、園内にも掲示している。 【課題・対策】 ・保護者同士の交流の要望がある為、親子レクリエーションでのクラスタイムや年1回クラス懇談会を設けている。 ・外国籍の保護者との言語の壁をどのように取り払うかの検討が必要。			

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	A	育児相談日(要予約)を設け、対応している。夏祭り等は園を開放し、地域住民の方も気軽に園を見ることができるようになっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・区の情報サイトやHPに園情報を掲載している。 ・園医の先生にもご協力頂き、保健相談の機会を設けている。		
		【課題・対策】 ・ちょっとした育児についての相談や話しが出来るような機会を設けて、保護者と園の相互理解を図る。		
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応をしている。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・区役所発信のチラシ「あそびの広場」に毎月地域支援の情報を掲載し、園庭開放や乳児教育プログラム体験会等のイベント募集を行っている。		
		【課題・対策】 ・地域支援のイベントの枠をさらに広げて、親子で気軽に園に足を運んでもらえるようニーズのリサーチや発信方法の工夫を検討する。		
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	A	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・受け入れ時には、バランスよく各年齢のクラスに配属し、子どもの育ちの理解を深められるようにしている。		
		【課題・対策】 ・コロナ禍以降希望者が少ない為、情報発信や告知方法を検討し募集を推進する。		
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	A	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用して、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】		
		【課題・対策】		
職員の技術の向上	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・園内会議や研修の他、外部から講師を招いての研修(動画配信等)を行っている。 ・無理のない範囲で職員が興味のある内容の研修に参加出来るようにシフト時間の調整を行っている。 ・年2回職員面談を行い、勤務に関する相談や振り返り内容を共有している。		
		【課題・対策】 ・研修で学んだことを園内会議や対面で発表できる時間を設けて、スキルアップに繋げる。		
経営管理	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報を入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・年度初めの園内会議にて基本事項を周知している。 ・毎月1回発行される「運営要項」の読み合わせやGニュースの回覧等、最新情報を共有している。		
		【課題・対策】 ・途中入社や短時間パートの職員への現場研修の確立。 ・職員が生き生きと保育できる環境の整備。		
園目標や自己評価結果に対する反省・課題(事業報告書へ)				園目標は、「成長発達に応じた体力の育成」であったが、毎月計画的に年齢ごとの運動遊びを取り入れて、各クラスの入り口壁面に掲示もを行い、保護者支援の一貫として分かりやすく見える化を実践した。 ・安全に楽しく運動遊びを推進する為には、職員の配置や連携が不可欠である為、シフトの工夫や活動の振り返りを行う時間の確保が必要と考える。